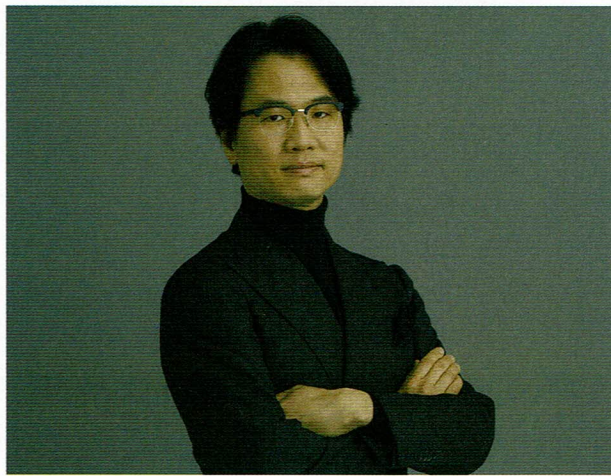


指揮者
中田 延亮
Nobuaki NAKATA



京都生まれ。筑波大学医学専門学群在学中に桐朋学園ソリスト・ディプロマコースに入学、コントラバスを専攻する一方で指揮を学び、在学中より活動を開始する。その後2005年より本拠を欧州に移しウィーン市音楽院古楽科などで更に学んだ。また巨匠ジャン・フルネ氏に認められ、最晩年の生徒として師事し薫陶を受ける。
07年ブルガリアのスタラザゴラ歌劇場でヨーロッパデビュー、またドナウ交響楽団主催の国際指揮者コンクールで第1位を受賞。これまでにラトヴィア国立交響楽団とのエストニアツアー、ポルト

アレグレ交響楽団(ブラジル)、ブラショフ歌劇場(ルーマニア)などの海外オーケストラへの客演や、国内のオーケストラとも数多く共演を続けている。2008-10年スタラザゴラ歌劇場首席客演指揮者。
コントラバス奏者としては新日本フィルハーモニー交響楽団とバレンシア歌劇場管弦楽団に在籍した他、オーストリア・スペインの古楽団、室内アンサンブルの公演にも数多く参加した。

Photo:©Tajji Yamazaki

エヴァンゲリスト
鈴木 准
Jun SUZUKI



北星学園大学文学部卒業。東京藝術大学声楽科卒業。同大学大学院にて音楽学博士学位取得。モーツァルト『魔笛』タミーノ役で新国立劇場、東京二期会、日生劇場、兵庫県立芸術文化センター、あいちトリエンナーレ、神奈川県民ホール等のプロダクションに出演。他に『コジファン・トゥッテ』フェランド、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『後宮からの逃走』ベルモンテ、『セビリアの理髪師』伯爵、『フィデルリオ』ヤキーノ、『さまよえるオランダ人』舵手、『タンホイザー』ヴァルター、『夕鶴』与ひよ、『沈黙』モキチ、『金閣寺』柏木、『愛の白夜』ヨニー、『死の都』パウル、『サロメ』ナラポート、『カレイド・リヴァー』狂女など。宗教曲：コンサートでは、バッハ・コレギウム・ジャパンの国内外の公演・録音に参加。J.S.バッハ『マタイ受難曲』『ヨハネ受難曲』福音史家、ヘンデル『メサイア』、ハイデン『天地創造』四季、ベートーヴェン『第九』『オーブ山上のキリスト』、ブリテン『セレナード』等で多くのオーケストラと共演。松本隆訳詞によるシューベルト『冬の旅』『白鳥の歌』CDをリリース。桐朋学園大学准教授。東京藝術大学非常勤講師。二期会会員。

イェス
河野 克典
Katsunori KONO



ドイツ政府給費留学生としてミュンヘンで学び、その後ウィーン国立歌劇場の研究者となる。ジュネーヴ、ヘルトゲンボシュ国際声楽コンクールなどで入賞。欧米でのリサイタルはもとよりオペラ、オーケストラ、宗教曲の公演に出演し、国内でも新国立劇場オープニングの年の『魔笛』のババゲーノ、『道化師』のトニオをはじめ近年の『紫苑物語』の弓麻呂など多くの公演に出演し、存在感溢れる演技で好評を博している。またHNK交響楽団、東京都交響楽団等の国内オーケストラの公演や、小澤征爾、大野和士、広上淳一、K・ナガノ、K・マスア、G・ベルティーニ、E・インバルといった著名な指揮者にソリストとして招かれている。リサイタルでは『ヴォルフの世界』で芸術祭優秀賞を受賞、そして『マラーの世界』と題して、日本で初めてオーケストラ歌曲によるリサイタルを沼尻竜典指揮のNHK交響楽団でサントリールホールにて行い成功させた。山口県「ふるさと大使」。

ソプラノ
隠岐 彩夏
Ayaka OKI



岩手大学教育学部卒業。東京藝術大学大学院修了。R.シューマンの歌曲研究で博士号取得。文化庁新進芸術家海外研究員としてNYで研鑽を積む。友愛ドイツ歌曲コンクール第1位。文部科学大臣賞受賞。日本音楽コンクール声楽部門第1位。岩谷賞(聴衆賞)、E.ナカミチ賞受賞。2015年三菱地所賞、2019年東奥文化選奨受賞。オラトリオに幅広いレパートリーをもちコンサートソリストを多数務める。22年インバル指揮東京都交響楽団(第九)、ノット指揮東京交響楽団(第九)出演。オペラでは『魔笛』『愛の妙薬』『ラ・ボエーム』等出演。歌曲を活動の軸に据え毎年リサイタルを開催している他、Eテレ『クラシックTV』や20/21年には『ディズニー・オンクラシック』全国ツアーに参加する等活動は多岐にわたる。キングレコードより矢部達哉、横山幸雄両氏と共演による初のソロCD『愛しの夜』をリリース、レコード芸術の特選盤に選出された。

Photo:©T.Tairadate

アルト
庄司 祐美
Yumi SHOJI



慶應義塾大学文学部心理専攻卒業後、東京藝術大学声楽科に進み大学院独唱科博士課程修了(音楽博士)。在学中メンデルスゾーン(エアリア)(G.ボッセ指揮)、ベルリオーズ『夏の夜』(J.ロックハート指揮)ソリスト。文部科学省の派遣制度でシュトゥットガルト音大に留学。K.リヒター氏のリートクラス修了。レーガー歌曲演奏はSWRで放送される。シュトゥットガルトのバッハ週間カンタータ解説演奏会(ピラー、リリンク指揮/解説)、演出付『ヨハネ受難曲』(エアランゲン)、シャリノー『ガラスの下の声』ソリスト。シューマン生誕200年リサイタル(ボン)は現地紙上に高評を得る。二期会(ジュリアス・シーザー)、ワルキューレ』や宗教曲、第九、マラー『復活』、『大地の歌』等に出演。毎回新たな曲目でリサイタルを開催。近年出演した古楽器によるバッハ・カンタータや『ヨハネ受難曲』はライブ収録CDがリリースされている。二期会会員。

テノール
望月 哲也
Tetsuya MOCHIZUKI



東京藝術大学卒業。同大学院修士課程オペラ科修了。在学中に安宅賞、松田シ賞受賞。ドコモ奨学金授与。二期会オペラスタジオ修了。修了時に最優秀賞、川崎静子賞受賞。
第35回日伊コンクール第3位。第11回奏楽堂日本歌曲コンクール第2位。第70回日本音楽コンクール第2位(オペラ・アリア部門)。
これまでに多数のオペラ作品に出演。「魔笛」タミーノ役でヨーロッパデビュー。モーツァルトからプッチーニ、ワーグナーまで幅広いレパートリーを有する。宗教曲の分野ではバッハ、ヘンデルを始め約50作品以上のレパートリーを持ち、これまでにサヴァリッシュ、デュオ、小澤征爾等の著名な指揮者と共演。
二期会会員。国立音楽大学および大学院准教授。

バリトン
新見 準平
Junpei NIIMI



東京藝術大学卒業(アカンサス音楽賞、同声会賞を受賞)。同大学院修士課程修了。ウィーン、デン・ハーグにて研鑽を積む。第19回日本モーツァルト音楽コンクール第1位。Ljuba Welitsch国際声楽コンクール特別賞。2009年東京労音『第九』でデビュー以降、数多くのオペラ、オラトリオにソリストとして出演。歌曲によるリサイタルにも意欲的に取り組むベルギー・フランダース地方の歌曲を数多く日本初演している。バッハコレギウム・ジャパンの海外ツアー、録音に参加。福岡ソフトバンクホークス鷹の祭典2021「いざゆけ若鷹軍団」、小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXIX『ラ・ボエーム』プロフ役カヴァー、2023セイゾウワ 国際フェスティバルにも同役で出演し、国際的な音楽家との共演を通して経験を積んでいる。現在、大分県立芸術文化短期大学非常勤講師、大分二期会理事。東京藝術大学音楽研究科研究生として更に研鑽を積んでいる。

室内管弦楽団 オルケストラ・クラシカ Orchestra CLASSICA



室内管弦楽団オルケストラ・クラシカは、大阪フィルハーモニー交響楽団首席オーボエ奏者・大森悠の提唱のもと、2013年12月に発足した。東京大学音楽部管弦楽団OBを中心に、優れたプロ奏者の支援を得て演奏活動を行っている。ハイドンを中心とする古典作品と、その枠を受け継ぐ近現代作品を取り上げ、自然で自由なアンサンブルによって管弦楽の理想を追求することを目指している。

2023信濃楽友会合唱団

2023 Collegium Vocale Shinano

信濃楽友会の公募により結成している合唱団。安曇野市、松本市を柱にそのほか県内各地よりクラシック音楽を愛し合唱を愛する有志が集まっている。

信濃楽友会について オルケストラを伴う合唱の演奏会を開催して、多くの長野県民にその場で歌う機会を提供するとともに、その活動を通して音楽文化の普及、向上を目指す無償のボランティア組織。毎回の公演時に次年度の演奏曲目を発表して100名から200名の合唱団員を公募し、ほぼ1年をかけた練習を重ねてその成果発表の場となる演奏会を開催している。2007年にNPO安曇野シンフォニー楽友会として活動をスタートし、以来12年にわたり12回の公演を企画、運営してきた。2013年にNPOを解散して名称を「安曇野楽友会」に改めて同好会運営組織とし、2016年には合唱団への参加者が安曇野市民よりも松本市その他の県内各地からの参加者が多くなってきたことで名称を「信濃楽友会」に改めている。

チケットの通信販売 1枚 3,000円
FAX 0263-31-0723
Mail azmn.g13@gmail.com

【①郵便番号 ②住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤注文枚数】を明記のうえ FAXまたはメールにてお申し込みください。後日チケットを郵送させていただきます。代金は同封の振込用紙にてお支払いください(チケット送料・振込手数料は信濃楽友会が負担いたします)